

かき生産者と園児の「能登かきを使った昼食会 2015 in 中島保育園

平成27年3月10日(火)
午前11時45分～12時45分

能登かき養殖漁業振興会として能登かきを使った昼食会は、今年で第7回目の開催となります。昨年に引き続き、中島保育園児、関係者の約180人を対象に能登かきのむき身16kgを使用いたしました。

昼食会は、年長児、農業者の松田さん、振興会の荒木代表、県漁協西湾出張所の瀬上部会長をはじめとした関係者が、園児と一緒に会食しました。

今回の目的は地元産「能登かき」を保育園給食に取り入れ、地元食材を知り、親しんでいく機会をもち地域に愛着が持てる子へと育む。また、地域の産業に関心をもってもらうことです。

はじめに能登かき養殖漁業振興会の荒木代表から挨拶があり、続いて瀬上出張所運営部会長が能登かきが食卓に並ぶまでの仕組みを紙芝居を使って「カキは山と海の栄養がたっぷり。皆さんもカキをたくさん食べて」と説明しました。

今年は、なんと…カッキーくんも駆けつけてくれました。園児たちもビックリ！！喜んで記念撮影♡

本日の献立は、かきごはん、かきフライ、ポテトサラダ、澄まし汁、いちごの5品。

能登かきの調理はかきごはん、かきフライです。かきフライは園児が収穫した中島菜を衣に混ぜてあり、美味しい。と嬉しそうに食べていました。

とても良い食育体験でした。

今後も、食育活動を通じて未来ある子供達に地元特産品である能登かきの良さを伝えていきたいと思えます。最後になりましたが、早朝より準備等にご参加いただいた関係皆様に感謝申し上げます。

